

○日本有益蟲一覽説明

圖中洋字の前にある數字は第一第二の番號にして名は凡て左より右に讀む蟲の側にある一は自然形の大にして4一は四倍に放大したるもの8一は其八倍なり

○第一 斑蚊「みちしるべ」又は「みぢぢ」 Cicindela chinensis, De Geer. 此種類は本邦に十種ありて成蟲幼蟲共に生蟲を捕食し森林田圃等に於ては夜盜蟲蟻等を食して甚有益なりと雖も多量に河畔海濱等の砂地に棲息するを以て其益次の如く大ならず

○第二 暮光蟲「うしむし」又は「まほごみむし」 Calosoma indicum, Fab. 本邦に産するもの此種類に三あり食肉性にして殊に夜盜蟲其他蝦蟇を食ひ本邦に於て最も有益なる蟲の一なりとす

○第三 步行蟲「あつちり」 Carabus insulicola, Chaud. 本邦に産するもの十種あり同じく食肉性にして殊に夜盜蟲、金龜子蟲、はりがね蟲、蛭蟪、蚯蚓、鱗蠶等を食す是亦本邦に於て最有益なる蟲類の一なり

○第四 枇杷蟲「あまごひはむし」 Damaster viridipennis, Lew. 本邦に産するもの八種あり前二種と同じく夜行性にして夜盜蟲、蝸牛等を食し其性前者と異なし

○第五 行夜蟲「三井寺はなめし」 「くわらむし」 Pheropsophus jessoensis, Mor. 此第五第六の二種も亦前種と同じく食肉性なりと雖も小形なるを以て其益前種に劣れりとす

○第六 塵芥蟲「ちみぢし」 Pterositheus fortis, Mor. 以上六種の蟲類は本邦に産する步行蟲類三百餘種の中より最重要なるものを撰載せるものにして是等の蟲類



○第十六 くさばかびらふ Chrysopa, sp.

此種類にして余の有するもの五六種あり是亦前種と同じく其成蟲は食肉性に非ずと雖も其幼蟲は蚜蟲を食する事甚強暴なり彼優曇華の花は即ち此蟲の成蟲の卵子なり

○第十七 蟷螂 Mantis chinensis.

本邦に産するもの數種あり食肉性にして能く田圃の害蟲を捕食す極めて有益なるものとす

以上十七種は本邦に産する間接有益蟲の重要なるものを撰みたるものにして元來本邦に産する有益蟲の數は甚多くして現に余が標品中にあるものすら既に五百餘種に上れり此圖一片の掛額固より以て十分なる能はず依て其詳細なるは別に一冊となして發行するが故に之に就て見られんとを望む

編者曰く此圖松村學士多年研究の餘に成り其標本の如き皆學士が自から採集せられたるものに係る而して學士は札幌より之を郵送せられたるが途中標本に損所を生ぜしものあり是等は止むを得ず他の標本又は確實なる圖書等に徴し或は専門家に就き訂正する等十分注意を加へたれども尙不完全の所少なからず尤も近日一般の害蟲をも併て記したる「田圃昆蟲新書」と稱する同學士の著書を發行する筈なれば其節十分に訂正する所あるべし

明治二十九年一月廿五日印刷



定價本圖共金貳拾錢
 郵稅金貳錢
 編輯人 東京市牛込區神樂町三丁目六番地 池田次郎 吉
 發行所 東京市赤坂區溜池町五番地 渡瀬寅次 郎
 發行所 東京市赤坂區溜池町五番地 東京興農 園
 印刷所 東京市京橋區西紺屋町廿六七番地 高田乙三 舍
 印刷所 東京市京橋區西紺屋町廿六七番地 英社 秀

に類似せるものは其二三を除くの外、他は悉く有益蟲なりと知るべし其性餘り人を恐れざるを以て最も目に觸
易く隨がつて鞋下に陥み易し

是等は皆宜しく保護すべき蟲類にして現今歐米諸洲に於ては是等の歩行蟲類を識別せしめんが爲、小學校の教
科書に登載しありとす

○第七 羽隱蟲「だらめうはねかくし」Staphylinus daimio, harp.

本邦に産する此種屬のもの六ありて此科に屬するものは四百餘種あるも多くは皆小形なり爰に示せるは食肉
性にして鱗蟻、はりがねむし、金龜子蟲、蠹蟲等を食とす此他小形なるものにして動植物の腐敗物を食する
ものも多し

罕に甜菜、蕓薹等の花粉を食害するものあり

○第八 朽木蟲「こみむしたまじ」Tenebrio ventralis, Mar

本邦に於て此科に屬するもの百餘種ありて多くは皆朽木を以て食とす時としては屍骨、菌類等を食するもあ
り又稀には厨房にあつて小麦粉其他乾物等を害するありと雖も森林田圃等には有害なるものなし(歐米には
此科に屬して厨房の物を害するもの多し)

附説 森林に於て砧木を速に腐朽せしむるは森林家の大に望む所なり蓋し無用の枯木を以て徒に森林を充
塞するが如きは最も不經濟にして稚苗の發育を防護するものなり而して此腐朽を促致せんと欲せば此蟲
類の効用最大なり其他苗類屍骨等を食するも亦寧ろ有益なりとす

○第九 瓢蟲「なほしてんさふらじ」Coccinella 7 punctata, L.

本邦 産するもの十二種あり好んで蚜蟲を食するものにして本邦有益蟲類の最なるもの一とす

○第十 小瓢蟲「もたてんさふらじ」ひめかな瓢」Cryptogonus orbiculus, Gyll.

此種類は極めて小形の瓢蟲にして綿蚜蟲を以て食飼とす重に林檎に棲み其幼蟲は綿を以て軀を被へり

○第十一 馬尾蜂「まなびざ」Physsa, sp.

本邦に於て此屬にあるもの三種(Glyta, prinplata除き)あり何れも其長き産卵管を以て天牛。かぶとむし。樹蜂等
の幼蟲に卵子を産附し是等の害蟲を以て食とし成長す故に大に有益なる蟲類とす

○第十二 姬蜂「あめららひめびん」Paniscus, sp.

本邦に於て此種に屬するもの「ぢひん蜂」と合すれば五種あり (Ichneumon, Trogus,を除き) 重に夜盜蟲其他
蛾蟻に寄生して害蟲を殺す事大なり

○第十三 小糠蜂「こぬかばち」Apanteles, sp.

此種本邦に甚多し同じく寄生蟲にして其重なるものは「ぶらんこ」毛蟲。天幕蟲。根切蟲。夜盜蟲其他蝶蛾蟻
等に寄生す、諸害蟲が此寄生の爲に倒るゝもの十中六七に達すといふ形極めて小なり

○第十四 寄生蠅「たきなばら」Masicera, sp.

此圖に示せるは亞麻の夜盜蟲に寄生せるものにして「タキナ」蠅の一種なり此種類極めて多く試験用に供す
る妙類中十の五六は皆此寄生蟲を有せり

○十五 馬蟻「うまむし」Harpaer, sp.

此科にあるもの本邦に入種あり食肉性にして晝間は塵芥等の下に隠れ夜に至りて大に暴食をなす其重なる食
餌は蛆蟲。蛾蟻等にして其性甚猖獗なり

○第十六 くさばかびらと Chrysopa, sp.

此種類にして余の有するもの五六種あり是亦前種と同じく其成蟲は食肉性に非ずと雖も其幼蟲は蚜蟲を食する事甚強暴なり彼優曇華の花は即ち此蟲の成蟲の卵子なり

○第十七 螳螂 かまきり Mantis chinensis.

本邦に産するもの數種あり食肉性にして能く田圃の害蟲を捕食す極めて有益なるものとす

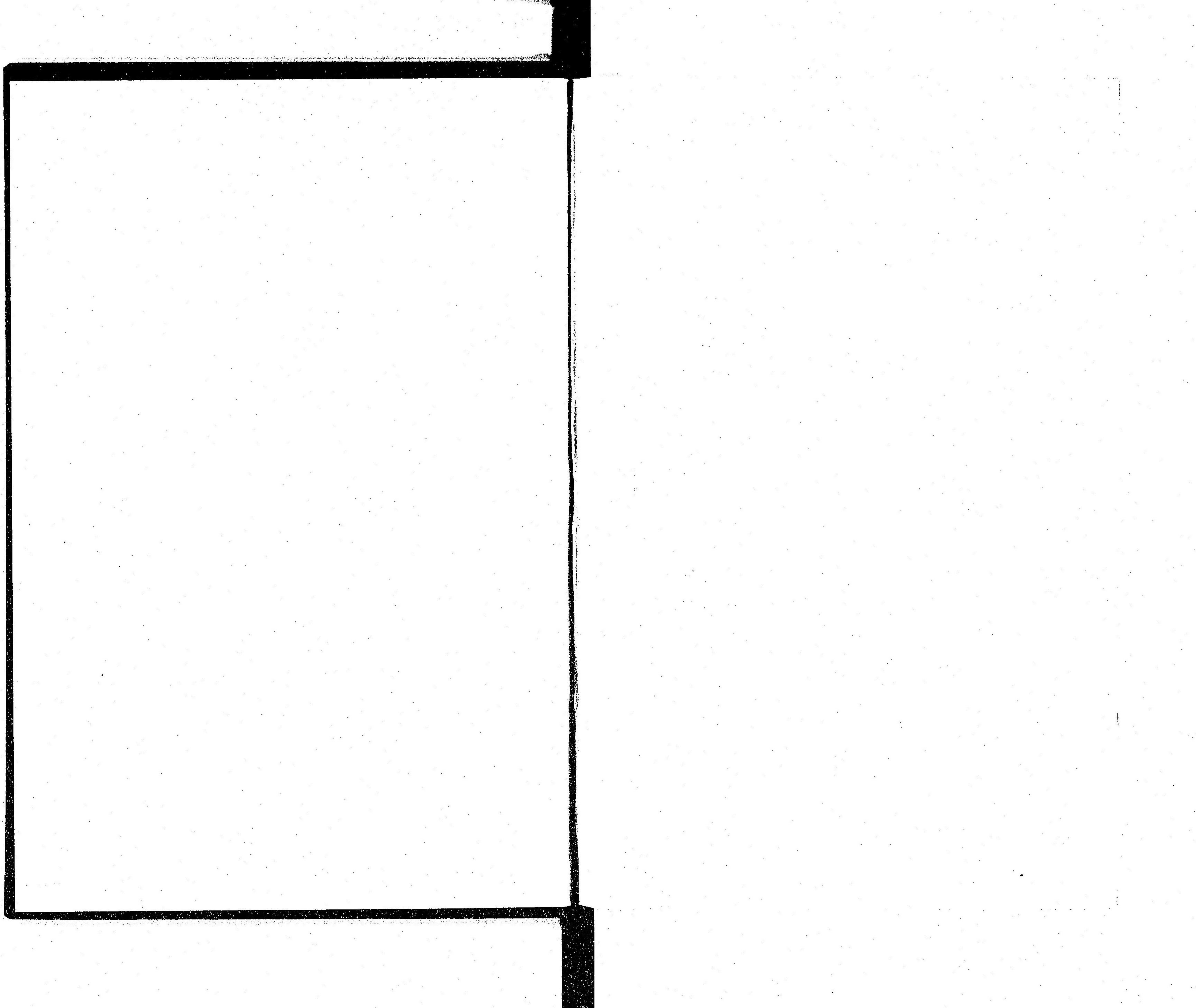
以上十七種は本邦に産する間接有益蟲の重要なものを撰みたるものにして元來本邦に産する有益蟲の數は甚多くして現に余が標品中にあるものすら既に五百餘種に上れり此圖一片の掛額固より以て十分なる能はず依て其詳細なるは別に一冊となして發行するが故に之に就て見られんとを望む

編者曰く此圖松村學士多年研究の餘に成り其標本の如き皆學士が自から採集せられたるものに係る而して學士は札幌より之を郵送せられたるが途中標本に損所を生ぜしものあり是等は止むを得ず他の標本又は確實なる圖書等に徴し或は専門家に就き訂正する等十分注意を加へたれども尙不完全の所少なからず尤も近日一般の害蟲をも併て記したる「田圃昆蟲新書」と稱する同學士の著書を發行する筈なれば其節十分に訂正する所あるべし

明治二十九年一月廿五日印刷



定價本圖共金貳拾錢
 郵稅金貳錢
 編輯人 池田次郎 東京市牛込區神樂町三丁目六番地
 發行所 渡瀨寅次 東京市赤坂區溜池町五番地
 發行所 東京興農 東京市京橋區西紺屋町廿六番地
 印刷人 高田乙 東京市京橋區西紺屋町廿六番地
 印刷所 英舍 東京市京橋區西紺屋町廿六番地





40
234

057638-001-8

40-234

日本有益虫一覽

松村 松年/著

M29

CAR-0238



